

# Labo News vol.1

## ～ 検査・輸血細胞治療部からのお知らせ～

Labo Newsは富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部ホームページから閲覧できます。

<http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/ccla/index.html>



広報誌『LABO Twitter』を『Labo News』とタイトルを変え新たに発行しました！



にいみ ひでき

### 仁井見 英樹 新部長 就任のご挨拶

本年4月より北島勲先生が副学長に就任されることに伴い、新たに検査・輸血細胞治療部の責務を引き継ぐことになりました。今後は今迄の方針を踏襲しつつ、以下の「4つの向上」を目指すことで、当部門の進むべき方向性をより明確にしたいと思います。

#### 1. 臨床へのサービスの向上

何よりも先ず、患者様がより良い治療を受けられますように、臨床検査および輸血業務を通じて臨床へのサービスの向上に努めます。そのため、「迅速かつ正確」な検査・輸血業務を実施します。また、定期的なアンケートの実施で臨床（医師、看護師、患者様）からの意見を募り、検査・輸血業務にフィードバックして業務の改善を図ります。

当部門は現在、「検査マネジメントシステムと検査技術の向上」を品質目標として、ISO15189「臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項」の認定を受けています。本規格の品質マネジメントシステムを実践することで、「先進医療を実施する組織」としての大学病院の基盤を築いています。

#### 2. 病院への売り上げ向上

当部門の病院売り上げに対する貢献度は形として見えにくいことが難点です。これが見えれば、部門としての病院売り上げに対する適切な対応（＝エビデンスに基づいた検査機器や人員の適切な配置）が可能となります。また、貢献度が見えた方が、日々努力しているスタッフのモチベーションも高まります。従って経営企画部門との協力の元、数値（売上 or 検体数）として「見える化」を行い、各スタッフが数値を共有します。但し、「病院への売り上げ向上」は必ずしも「臨床へのサービス向上」に繋がらない場合もあるため、臨床へのサービスを優先しつつ、両者のバランスを考慮して適切に対応したいと思います。

### 3. スタッフ一人一人のキャリアアップおよび満足度の向上

当部門スタッフは検査および輸血業務のプロフェッショナルであり、日々、知識やスキルの研鑽を積むことを必要とします。従って、スタッフ一人一人の資格取得やキャリアアップを支援することで、検査技術の向上に努めたいと思います。また、スタッフこそが当部門の業務の主体であるため、職場におけるスタッフ一人一人の満足度の向上を最優先の目標として職場環境の改善を図ります。我々はスタッフの満足度の向上こそが、臨床へのサービスの向上、および病院への売り上げ向上に直結すると考えます。

### 4. 研究開発および最先端の検査を提供することによる付加価値力の向上

当部門ではTmマッピング法を独自開発し、感染症起炎菌の迅速同定（検体採取から4時間程度）&定量検査（当部門以外、他のどの施設でも実施出来ていません）を実施しています。本検査法は国立研究開発法人・日本医療研究開発機構（AMED）の産学連携医療イノベーション創出プログラム（ACT-M）に採択されています。このように当部門では新規検査法の研究開発を推進し、最先端の検査を提供することによる付加価値力の向上に努めます。

以上、検査・輸血細胞治療部は医師4名、臨床検査技師34名、看護師4名、事務員1名が「4つの向上」を心掛けつつ、広範な検査・輸血業務を実施しています。我々は日々は進歩をモットーに自発的に「動く組織」として活動していきますので、今後とも検査・輸血細胞治療部をどうかよろしく願い致します。

## 輸血細胞治療部部門からのお知らせ

### 外来・病棟採血検体の提出先について

平日8:30-20:30の時間帯は輸血と印字されている検体については原則、輸血細胞治療部門に提出して下さい。（気送管も含む）



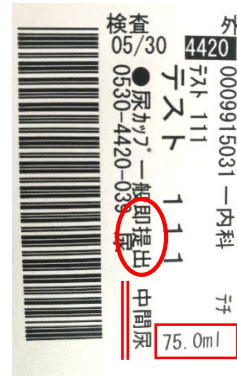
オーダーパベルに輸血と印字されている検体は輸血細胞治療部門提出用です。

当日輸血オーダーや血小板などの予約製剤については必ず電話連絡してからオーダーして下さい。円滑な輸血製剤準備のため、ご協力のほどよろしくお願いします。

検査は病棟、診察室から始まっている！検査値に影響を与えてしまう検査前プロセス  
尿一般（定性・沈渣）検査について取り上げます。

『尿一般検査』のオーダーが出たら、

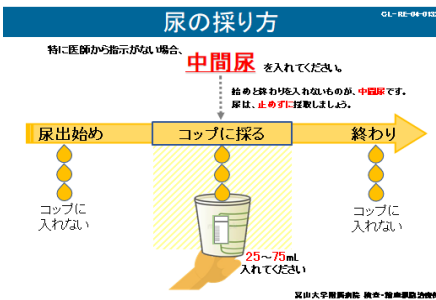
- STEP.1** 早朝第一尿、または随時尿
- STEP.2** 中間尿を採取(25mL~75mL)  
※特に医師から指示がない場合
- STEP.3** 速やかに検査室へ！



採取ラベルもわかりやすく情報を変更しました。

なぜ中間尿なのでしょう??

出始めの尿には、外陰部からの細菌や細胞成分、最後のほうの尿には分泌物などが混入する恐れがあります。これらを防ぐために、中間の部分のみ採取した中間尿の提出をお願いしています。



**採尿のご案内**

- お名前はコップに印字されています。ご確認ください。
- 尿は、コップの目盛り 25~75mLの間でお採りください。  
※ 25ml以下の場合、再採取をお願いすることがございます。
- 採取後は、お手洗い奥の窓口へご提出ください。

**採尿でお困りの時は…**

- 換って尿をこぼしてしまった
- 水が入った
- 尿が出ない
- 尿の採り方がわからない など

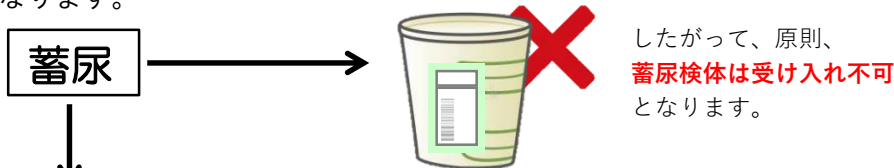
窓口奥のスタッフにお声がけください

**注意!**  
① コップの上に、トイレットペーパーを乗せないでください。  
② 生理中の方は、お申し出ください。

外来採尿場所である内科外来前トイレ内に、『尿の採り方』等ポスターを掲示することになりました。ぜひ、参考にして下さい！

尿は放置により成分が変化しやすい

尿を放置していると、尿中の細菌により尿素が分解されてアンモニアが発生し、そのアンモニアによってpHがアルカリ性に傾き、また細菌により糖が分解され陰性化するなど、様々な変化が起こります。尿沈渣でも、赤血球の溶血、白血球・上皮細胞の変性、細菌増殖、塩類・結晶の析出などが起こり観察困難となります。



スピッツ尿は受け入れOKです。

一般検査の検体受付時間

**8:00 ~ 16:00**

病棟で15時以降に出た検体につきましては、**直接、検査室までお持ちください。**  
16時までの検体提出にご協力お願いします。



## 院内検査項目の基準範囲一部変更のお知らせ

臨床検査適正化委員会からの周知の通り、4月22日より共用基準範囲を一部の項目で採用し、基準範囲の変更を行いました。変更の趣旨は、全国の医療施設によって共用基準範囲が異なる問題に対応し、標準化を図ることです。平成30年度検査適正化委員会にて別紙の通りとすることが決定されました。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

→別紙参照

### 次号予告

Q&Aコーナー開設します！質問募集中です。  
日頃、検査に関する事で疑問に思っていることや  
分からない事はありませんか？  
どんな些細なことでも構いません。  
広報委員宛にFAXでお知らせください。

**FAX : 076-434-5081**

お待ちしてま～す！

